

## 中央アジア各国提示のプロジェクト概要

(注：以下の内容に変更はあり得ます。)

### 1 キルギス

(1) プロジェクト名：食肉加工企業の創設及びその支部ネットワークの構築

概要： 食肉加工コンビナート3件の建設，認証システム（品質検査場），肉製品の安全に関する義務的畜産衛生検査を伴う「と殺場」の提供。

必要性： キルギスは畜産業が盛んであるが，加工業が未発達で，ほとんど生きた家畜のまま取引されている。また，加工業を発展させるためには，国際的な水準の認証システムの整備や，現在の農村におけると殺に代わる衛生的な「と殺場」の整備が必要。

(2) プロジェクト名：果物濃縮ジュース生産クラスター

概要： 隣国との貿易経済関係の発展及び国際的な市場への進出を目指し，果物・野菜濃縮ジュースの製造に係るバリューチェーン（原料から生産までの一貫した体制）を構築する。

必要性： キルギスは果物の生産が盛んであるが，年間を通じた安定的な供給に対応できていない。果物を加工する技術が未発達であり，果物集荷及び加工製品の物流経路も確立されていない。

(3) プロジェクト名：貿易ロジスティクス・センターの建設

概要： 貿易ロジスティクス・センター4件の建設。農産品の冷蔵・冷凍設備，センター内食品輸送車両，長距離輸送用保冷車，農畜産品品質管理検査機材，植物性食品洗浄・包装ライン，肉と殺・包装ラインを伴う。

必要性： キルギスでは，農作物の貯蔵設備が十分でなく，販売経路も未発達。農作物の標準化システムも整備されておらず，競争力のある作物が生産されていない。生産者と加工業を継続的に繋ぐシステムが欠如しており，価格も安定していない。

### 2 カザフスタン

(1) プロジェクト名：農産物加工ロジスティック・センター

概要： カザフスタン南部ジャンビル州タラズ郊外に設立にロジスティック・センターを建設。センターの運営会社やセンターの下で活動を行う約20の企業（農作物生産，加工）への投資家を誘致。ジャンビル州政府がインフラ（運輸，水道，電力，ガス等）に投資し，国営公社「カズアグロ」も融資面で支援。

必要性： カザフスタン南部は野菜の生産が盛んであるが，生産者から消費者へと結ぶ物流が未発達であるため，生産・加工に係る高い技術を取り入れた農業企業が効率的に活動する基盤を整備する。

(2) プロジェクト名：穀物商社の創設

概要： カザフスタン南部及び西部に各2件の穀物貯蔵庫を建設する。貯蔵庫から輸出するための道路や鉄道を整備。これらのネットワークを運営する統一穀物企業に対して出資する企業を募る。

必要性： カザフスタンでは、穀物価格が国内の収穫高、国際市場、季節により大きな変動を受けるため、統一した企業が備蓄や流通などを担い、国内の生産者と穀物卸売をつなぐネットワークを形成することで価格安定化を目指し、地域に安定的に穀物を供給できるようにする。

### 3 タジキスタン

(1) プロジェクト名：農業セクター情報・助言サービス提供センター設立

概要： 農業省の中に設けられている情報コンサルティング課をベースとして、活動内容を充実させ、独立したセンターに昇格させる。その際、最新の研究動向や研修、アグリビジネス、農業金融等の情報についても提供できるようにする。

必要性： 農業セクターの多様化。組合活動に関する技術、融資へのアクセスを確保し、国と個人農家をつなぐ制度を構築する必要がある。

(2) プロジェクト名：バッタ対策に関する緊急支援

概要： バッタ対策に関する国際的なモニタリングの実施及びセミナーの実施。対策に必要な機材の整備を通じ、これまで州、地区レベルで行われているバッタ対策を国立機関の下で組織的に行う。

必要性： 国境を越えるバッタによる被害を最小限にするため、必要な対策を普及させるとともに、国際協力の体制を確立させる。

### 4 トルクメニスタン

(1) プロジェクト名：果実生産技術の向上

概要： 共同での灌漑システムを含む果樹園管理、専門家の交流、研修やセミナー、果実作物に関する共同研究、果実作物栽培のモデルとなる標準型果樹園の創設。これらに関し、日本の技術を移転する。

必要性： トルクメニスタンで盛んな果物（りんご、洋なし、もも等）栽培の技術を改良。限られた土地・水利用や、節水技術、地力保持技術、塩害対策が必要。

(2) プロジェクト名：植物工場技術の導入

概要： 野菜（トマトを想定）を日本の植物工場の技術を利用しトル

クメニスタンで栽培。工場の合理的な配置を検討し、植物工場に適した品種を共同で開発。専門家の交流や研修、パイロット・プロジェクトの実施等。

必要性： 環境を配慮した肥料，農薬の合理的使用の推進。

## 5 ウズベキスタン

### (1) プロジェクト名：青果生産分野効率向上計画

概要： 節水灌漑システム，冷凍システム，物流センター，製品加工ラインの設置。青果生産研究機関の強化，近代的品種の輸入，農業ビジネスの促進。農家向け研修。田畑・温室建設への財政支援。近代的栽培技術の導入，灌漑網整備等。

必要性： ウズベキスタンで盛んな青果生産の効率性向上。果物の殆どが未加工のまま流通しており，ドライフルーツ等の加工品の生産を促進し，農村での持続的な発展を実現させる。

### (2) プロジェクト名：ジャガイモ育種・生産効率改善計画

概要： 研究所の実験機材の近代化，実験農場のインフラ改善，専門家の養成・質の向上，ジャガイモの認証制度確立，必要な機材・技術購入のための農家への融資提供，農家向け研修等。

必要性： 現状では，種芋の多くを海外から輸入。ウズベキスタン共和国科学アカデミー生物・有機化学研究所に高品質ジャガイモ生産研究室が開設され，必要な機材と専門家を配置したが，実験農場でのインフラの不備，専門農家の不在等により，十分な成果が上がっていない。

### (3) プロジェクト名：高品質蚕繭及び生糸生産推進計画

概要： 生糸業研究所・工場等の実験機材近代化，人材育成，研修の実施。農場の挿し木用農園の創設，高品質品種の挿し木養成インフラ改善，害虫駆除の実施と草木保護センターの支援，資材購入・投資のためのセクター従事者への融資提供，繭加工近代的企業の創設等。

必要性： ウズベク製生糸は，太さが不均一。低い収穫率や製品のムラを改善することで，養蚕業を振興する。

(了)